



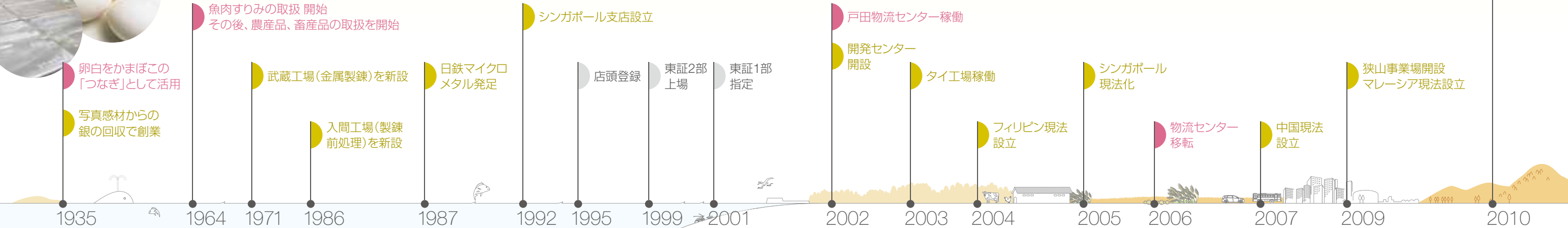
# IR HAND BOOK

第62期 第2四半期のご報告 (2010.4.1...2010.9.30)

# ひと目で分かる 松田産業

「地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献すること」を企業理念に、

- 限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用を図る貴金属事業
  - きれいな環境を次世代に引き継ぐ環境事業
  - 地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する食品事業
- の3事業を中心に展開しています。



当社グループは、貴金属関連事業を拡大・成長の牽引役部門、  
食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた  
中長期経営戦略を展開しています。

## 貴金属関連事業

### 貴金属事業

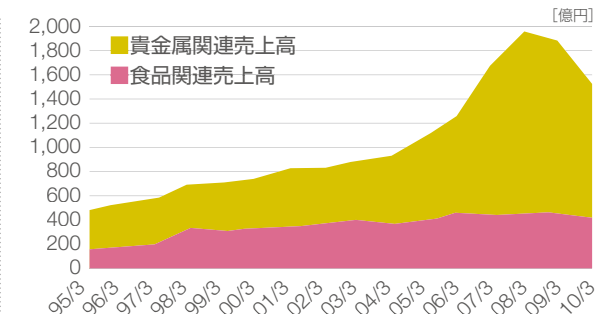
- 貴金属地金製造
- 貴金属化成品製造
- 貴金属リサイクル
- 治具精密洗浄
- 半導体・電子部材販売

### 環境事業

- 感材銀リサイクル
- 産廃収集／運搬
- 無害化中間処理
- VTR  
(真空加熱分離装置)

## 食品関連事業

- 水産品
- 畜産品
- 農産品
- 品質保証
- 物流



当誌に記載された業績見通し等の将来に関する記述は、決算短信が発表された2010年11月8日現在に当社が入手していた情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 2010年の主なトピックス

9月 新型銅ボンディングワイヤ「EX1」の量産体制を整備\*  
\*持分法適用会社(株)日鉄マイクロメタルにて



9月 環境・社会報告書を発刊

11月 マレーシアで貴金属原料の回収・製錬工場の建設に着手

# 海外拠点の強化を軸に 中長期目標の達成へ向けて邁進します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社の2011年3月期第2四半期(2010年4月1日~9月30日)のIR HAND BOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。



## 当第2四半期累計の業績と配当につきまして

主要顧客であるエレクトロニクス業界において、新興国などの旺盛な需要を反映し生産が好調に推移したことなどから、当社グループの当第2四半期累計の連結業績は、売上高906億83百万円(前年同期比31.4%増)、営業利益28億64百万円(同120.7%増)となりました。経常利益は28億65百万円(同140.6%増)、四半期純利益は17億3百万円(同161.0%増)となりました。このような業績の回復を受け、当第2四半期末の配当金につきましては予定通り1株当たり12円といたしました。2011年3月期の期末配当金も12円とし、年間配当金は、前期と同額の24円とする予定です。

中長期  
戦略

## 東アジアの各拠点で 強化策を実施しています

●2010年11月  
マレーシア工場の建設に着手しました。



## 通期業績見通しと中期目標について

貴金属関連事業では円高に伴う下振れ懸念、貴金属相場高騰等の不透明要素はあるものの、エレクトロニクス業界のゆるやかな拡大傾向は続くと考えています。食品関連事業でも、下半期は上半期とほぼ同水準で推移していくと想定しています。これらの見通しから、2011年3月期の通期の予想売上高は1,750億円と、前回発表時より約10%上方修正いたしました。利益については当初予想通り営業利益55億円、経常利益57億円に据え置いておりますが、当期はこれらの確実な達成を図るとともに、中期的目標としている売上高2,000億円、経常利益100億円の達成に向けた布石も着実に打ってまいります。

## 東アジアの事業基盤拡大を進めています

特に現在注力しているのが、円高傾向や新興国需要の高まりから部品供給基地としての重要性が増している東アジアでの事業基盤拡大です。1992年のシンガポール支店を皮切りに、タイ、フィリピン、中国蘇州、マレーシアに拠点を設けてきましたが、本年11月にはマレーシアで、貴金属原料の一貫処理工場の建設を開始しました。台湾では連携強化をベースに提携先の新工場を立上げるなど、既存拠点の強化も進めています。これら一連の取り組みにより、当社グループの貴金属回収製錬処理能力はさらに拡大していく見込みです。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松田 芳明

# 貴金属関連事業

## ビジネスモデル [ 貴金属関連事業の仕組み ]



## 品質保証



当社が製錬・精製した貴金属地金は、世界の流通市場でその品質が保証されています。金、銀、プラチナ、パラジウムの4品目について東京工業取引所にて認定を受けており、またロンドン金銀市場 (LBMA)、ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット (LPPM)、ドバイ金・商品取引所 (DGCX) においても当社の地金がブランド登録されており、その高度な品質と技術は、世界のお墨付きを得ています。

## 松田産業の強み

- 創業以来70余年間蓄積された高度な技術、ノウハウで、前処理から製錬、分析まで対応。金、銀、白金族を中心に確実に回収する技術力の高さと取扱高は常に業界トップクラス
- メッキ用化成品などエレクトロニクス業界向け製品を多彩に開発・製造・販売するほか、産業廃棄物処理も引き受ける、トータルリサイクルサービスを提供
- 全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可を取得

## 戦略課題と重点施策

戦略課題	重点施策
海外拠点の強化	マレーシア工場の立上げ 台湾提携先の活用
国内拠点の整備	入間地区の拠点整備 設備更新・能力増強
製品・技術の開発	回収技術力の強化 精密洗浄能力の向上 メッキ液等の新商品開発

## 業績概況 (2011年3月期第2四半期累計)

売上高 69,407百万円 前年同期比 37.6% 増

営業利益 2,507百万円 前年同期比 132.2% 増

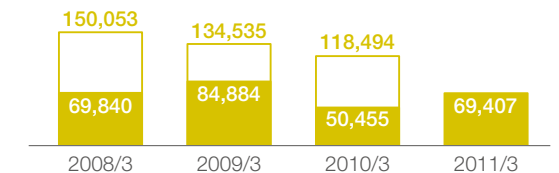
### 貴金属部門

- 半導体・電子部品業界において一部に在庫調整の動きが見られたものの、通信・IT製品に対する新興国や日本国内の旺盛な需要を反映し、生産が総じて好調に推移
- そのため貴金属化成品等の販売量や貴金属原材料回収も、引き続き高水準を維持。貴金属相場も上昇し、売上高は前年同期に比べ大幅に増加

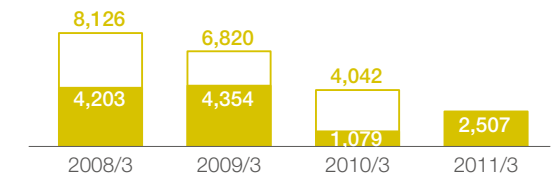
### 環境部門

- 製造業顧客の減産に伴う排出量の減少が底打ち傾向となり、取扱量は前年同期に比べ増加

売上高推移 □ 通期 ■ 第2四半期累計(中間期) [百万円]



営業利益推移 □ 通期 ■ 第2四半期累計(中間期) [百万円]



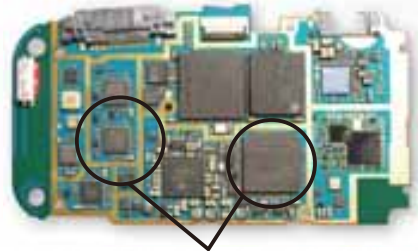
## 特集 | 松田産業が扱うモノ 進化する半導体部材

スマートフォンや電子端末向け、小型パソコン向けなど、半導体需要は量的拡大だけでなく機能面でも高度化しています。半導体の性能を左右する部材のひとつ「ボンディングワイヤ」について、さらなる高性能・省貴金属・低コスト化を実現する新製品が、当社取扱商品に加わりました。

### ボンディングワイヤとは

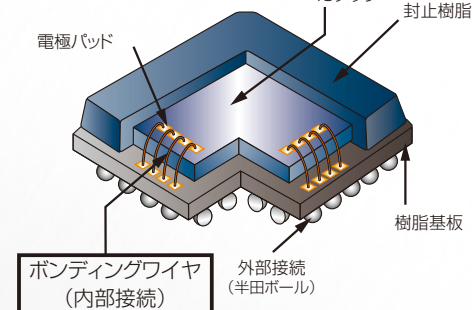
ボンディングワイヤは半導体の内部で、ICチップと外部端子を接続する金属細線のことをいいます。半導体の用途の広がりにもない、より小型、高性能で、衝撃に強いICチップが求められていますが、ボンディングワイヤについても、最終製品の寿命や信頼性に直結することから、技術的要求がますます高まっています。

### 携帯電話の内部と半導体



携帯電話には、1台当たり約20個の半導体が搭載されています

### 半導体の内部構造



接続技術の進化を、ボンディングワイヤの高性能化が支えています

### 新型銅ボンディングワイヤ「EX1」

高い技術要求に応えるため、ワイヤの素材には金がいられるのが一般的でしたが、金価格の高騰等により、低コスト化へのニーズが高まっていました。そこで新日本製鐵(株)と新日鉄マテリアルズ(株)、当社の関連会社である(株)日鉄マイクロメタルが開発したのが、新型銅ボンディングワイヤ「EX1」です。独自技術で銅をパラジウムで被膜することにより、金ワイヤの1/3～1/4程度の価格で、かつ酸化による寿命の低下や接合性の低さなど従来の銅ワイヤの弱点を克服し、半導体業界の厳しい要求を満たすことが可能となりました。



金ワイヤ EX1



※関連会社(株)日鉄マイクロメタル  
松田産業が30%、新日鉄マテリアルズ(株)が70%出資して設立した合弁会社で当社の持分法適用会社(写真は(株)日鉄マイクロメタルのフィリピン現地法人)。

### 市場への浸透状況

「EX1」は2009年4月の量産開始以降、台湾をはじめとする世界トップクラス顧客の20工場以上に採用されるなど順調に推移し、環境対応製品や、LED分野での導入も期待されています。今後、(株)日鉄マイクロメタルにおける量産体制等を通じ、当社グループの業績に寄与していく見込みです。

## 事業セグメント別情報

# 食品関連事業

### ビジネスモデル [ 食品関連事業の仕組み ]



### 市場、業界環境

- 食の安全・安心への関心の高まり
- 農薬および食品添加物への法的規制の強化
- 新興国の経済成長に伴う食資源調達競争の激化
- 外食産業の不振、中食・内食志向の高まり

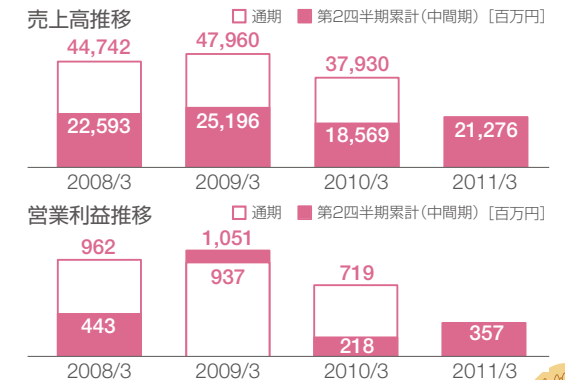
### 松田産業の強み

- 食品専門商社として、世界各国の仕入ネットワークを通じユーザーの求める商品を調達
- ユーザーが最も使いやすい形態・ロットでフレキシブルに一次加工
- 品質保証室による産地指導、品質規格書の発行やトレーサビリティでサービスを差別化
- 千葉物流センターで外食産業向けに個別店舗配送を展開

### 戦略課題と重点施策

- 安心・安全な商品の安定供給のための更なる品質管理の徹底、トレーサビリティの強化
- 仕入先との関係強化、新規商材・新産地の開拓による業務用食品原料の販売拡大
- 外食・中食・内食業界への販売強化

### 業績概況(2011年3月期第2四半期累計)



- デフレと厳しい雇用環境が継続し低価格志向が強まる一方、世界的な食材の値上がりという厳しい事業環境で推移
- すりみ等水産品の在庫調整進展と価格の下げ止まりにより、売上高は前年同期に比べ増加
- 鶏肉等畜産品、野菜類等の農産品も、主に数量増により売上高が増加

# 連結財務諸表のポイント

業績・配当の推移

[百万円]

損益計算書(要約)	当四半期累計 2010.4~2010.9	前四半期累計 2009.4~2009.9	増減	増減率
売上高	90,683	69,025	+21,658	31.4% ▲
営業利益	2,864	1,297	+1,567	120.7% ▲
経常利益	2,865	1,190	+1,675	140.6% ▲
四半期純利益	1,703	652	+1,051	161.0% ▲

貸借対照表(要約)	当四半期 2010.9	前期 2010.3	増減	キャッシュ・フロー計算書(要約)	当四半期累計 2010.4~2010.9	前四半期累計 2009.4~2009.9
流動資産	41,650	42,509	-859	営業活動による キャッシュ・フロー	△2,059	△1,777
固定資産	15,810	13,924	+1,886	投資活動による キャッシュ・フロー	△2,592	△835
流動負債	17,475	19,016	-1,541	財務活動による キャッシュ・フロー	2,756	△1,136
固定負債	3,173	1,842	+1,331	現金及び現金 同等物の四半期末残高	2,174	4,202
純資産	36,812	35,574	+1,238			
総資産	57,461	56,433	+1,028			

連結財務諸表のポイント

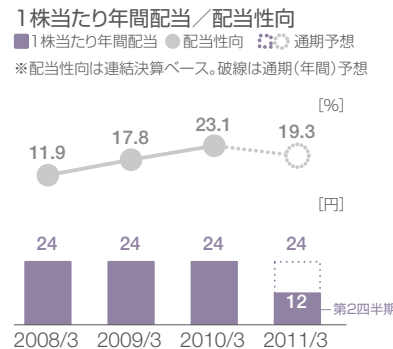
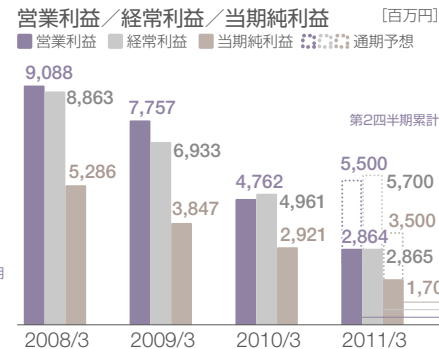
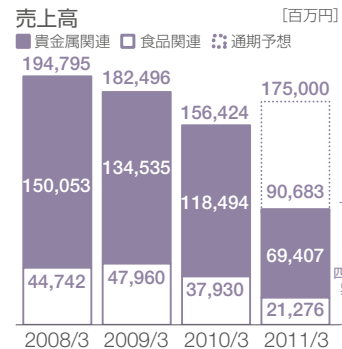
詳細な財務諸表等をご覧になりたい方は、当社ホームページ「投資情報」の決算短信をご参照ください。

松田産業

検索

▶ トップ画面 ▶ 投資情報

業績・配当の推移



もっと  
知りたい!  
松田産業  
CSR、環境・社会編

株主・投資家の皆様から  
よくいただくご質問に  
お答えします。

世界的な環境意識の高まりのなかで、松田産業は、  
環境への取り組みはどのようにされていますか?

**A** 新たな取り組みの一つとして、  
「環境・社会報告書」を発行しました

当社グループは事業活動を通じて循環型社会の構築と地球環境保全に貢献するという考えに基づいた企業活動を実施しています。このたび、そうした当社の活動状況をまとめた「環境・社会報告書2010」を発行いたしました。この報告書を通じてステークホルダーの皆様へ、当社グループの活動をご理解いただければと思います。

「環境方針」の  
全文も掲載して  
います!

「環境・社会報告書」(2010年9月発行)



下記当社ホームページに掲載しています  
<http://www.matsuda-sangyo.co.jp/information/report.html>

**A** ISO14001に基づく環境マネジメント体制や  
独自の事業活動を実施しています

当社グループは1999年に生産本部で、2006年に環境事業部とシンガポール現地法人でISO14001を取得し、環境マネジメント体制を運用しています。

また、環境保全活動として、事業活動が環境に与える影響について、把握・分析・評価を実施し、その影響度の低減を推進しています。例えば、ピーク時の電量使用の抑制や、様々な環境対策を講じた運搬車両の使用など、環境・安全に配慮した取り組みを実施しています。

こうした点が評価され、本年2月には国とは別に、東京都の評価基準に適合した産業廃棄物処理業者「産廃エキスパート」としても認定を受けています。



産廃エキスパート認定証  
(2010年2月認定)



液体廃棄物運搬に  
用いる漏洩対策車



従業員を対象に環境教育を実施

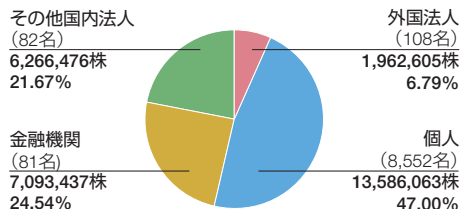
## 株式の状況

平成22年9月30日現在

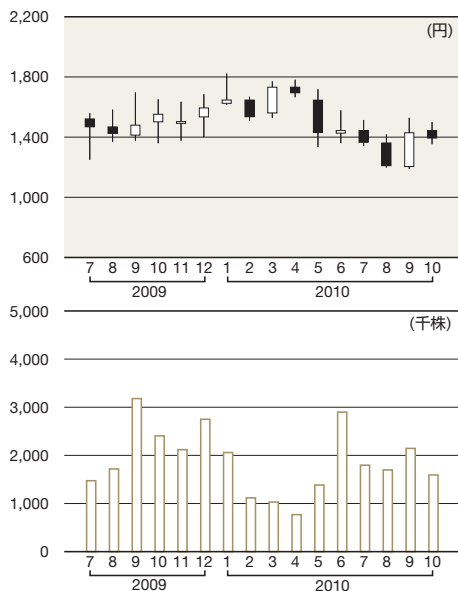
株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	8,823名

## 株式の分布状況

平成22年9月30日現在



## 株価・出来高推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html">http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきまして、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 【株式に関するお手続きについて】

	お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
特別口座に登録された株式	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>▶単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>▶住所・氏名等のご変更</li> <li>▶特別口座の残高照会</li> <li>▶配当金の受領方法の指定(*)</li> </ul>	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>▶支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>▶株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ▶音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ▶インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>
証券会社等の口座に登録された株式	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>▶支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>▶株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
	▶上記以外のお手続き、ご照会等口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

(\*) 特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

## 株主優待



- 対象株主  
毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。
- 優待の内容  
一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。
- 贈呈の時期  
毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

 **松田産業株式会社**

証券コード: 7456

東京都新宿区西新宿1-26-2新宿野村ビル  
TEL 03-5381-0001 (代表)

